



きらり！
まちの主演

No.46



語り部
齋藤留美子さんと
那須高原小学校
語りベクラブ

那須高原小学校では今年の5月から3名の児童が「語りベクラブ」で活動し、語り部の齋藤留美子さん(写真右)から語りの指導を受けています。9月末に開催された「全日本語りの祭りin那須高原」では那須中学校の生徒とともに、全国から集まった約300人の語り部の前で、那須の民話を通して素晴らしい町の紹介をしてくれました。

5年生の渡辺碧海さん(写真右から2番目)が5月から取り組んでいる民話は、湯本地区に伝わる民話「お題目石と喰初寺」。原稿用紙2枚以上もある長文を暗記し、情緒豊かな語り口調は聞く人を民話の世界に引き込みます。6年生の大森祐平さん(写真右から3番目)が練習しているのは「タコの手」。魚屋とその客のユーモアあふれるやり取りを、軽快な口調で語ります。頭の中で場面が浮かぶような語りを披露してくれました。4年生の秋元大和さん(写真左)が特訓しているのは「あさがおと朝ねぼう」。朝ねぼうのこんべえさんにまつわるお話を、身振り手振りを交えて語ります。聞く人みんなの心が和む、温かな語りを聞かせてくれました。

3人の個性あふれる語りは11月17日の那須高原小学校の発表会で観覧することができます。全国の語り部を魅了した語りを、ぜひご覧になってはいかがでしょうか。

短歌

彼岸花咲きて燃えつき土に帰す
花は葉知らず葉は花を知らず
台風の近づく夜に身仕度し
牛舎点検息子と嫁と

塩島 恵子
中島 君江

遊行柳投句箱

立ち話して立ち去りぬ野分かな
曼珠沙華咲き初む畦に柳立つ

川口市 鶴谷 博幸
国立市 伊藤 鉄郎

俳句

那須文芸

水澄むや水車の音も軽やかに
遠き日となりし災禍や水澄めり
人影の絶えし余笹の水澄めり
迷路めくメダカの学校水澄めり
病には勝てぬ定めや木の実落つ
抽斗の奥に彼の日の木の実独楽
牧牛の背中に落ちし木の実かな
秋澄むやピュアな演技の希林逝く
秋澄むや赤き蹴出しの湯もみ唄
揚げ花火無限の闇に弾け咲く
花火師の法被に脚絆男振り
星空に花火師の技七変化
むせかえるほど草いきれ満ち溢る
じゃがいもの大物顔で菜園に
草いきれ野良着色あせ夫婦老い
道の辺の秋草摘みつ試歩の朝
廃校の色変へぬ松史を留む

高久 巻江
中込とし郎
井上 博子
高畑 和子
杉本 美風
井上 均
中島 君江
池田 裕子
丹野 セツ
深沢 千郷
松本 和子
深沢 為寿
須藤さよ子
大場 芦山
渋井 英子
田部井清子
鮎瀬 汀

広報「那須」が
パソコン・スマートフォンで読めます

県内の広報紙などをまとめた電子書籍ポータルサイト「トチギーブックス」に広報「那須」が掲載されています。電子書籍なので、本をめくる感覚で閲覧することができます。(専用アプリのダウンロードは不要です)ぜひご活用ください。

URL: <http://www.tochigi-ebooks.jp>



那須文芸への出句について

出句は楷書でお願いします。判別できない場合は掲載になりませんのでご注意ください。
また、電話番号の記入をお願いします。

■縮切り 11月16日(金)

■俳句の送付先

〒329-3222 那須町大字寺子丙3-166
田中 義郎 ☎72-5044

■短歌の送付先

〒329-3292 那須町大字寺子丙3-13
総務課広報広聴係 ☎72-6901